

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	北九州市立ひびきコスモス運動場等 4 スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	若松区向洋町 15-1	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名称	株式会社 スピナ		
	所在地	八幡東区平野二丁目1番1号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・ 受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・ 清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・ 事業計画書及び収支計画書の提出 ・ 関係機関との連絡調整 ・ 地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・ イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・ 市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。				
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。				
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
[所見]				
【利用人員】 (単位：人)				
区分	【参考】R1 年度	R2 年度	R3 年度	前年度比較
ひびきコスモス運動場	75,850	45,135	47,265	2,130
若松球場	16,429	10,683	9,064	▲1,619
若松庭球場	13,393	9,759	8,255	▲1,504
若松球技場	17,459	19,573	18,954	▲619
計	123,131	85,150	83,538	▲1,612
目標	142,498	138,000	138,500	
要求水準	130,000	138,000	138,000	
※ R2 ・・・評価対象年度				
【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館日数】				
<庭球場> R2 年度：39日（新型コロナ緊急事態宣言）				
R3 年度：93日（ ）				
<球場・運動場等> R2 年度：39日（新型コロナ緊急事態宣言）				
R3 年度：93日（ ）				
○いずれの施設も利用者数の目標に届かなかったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により施設を休館したことが主な理由となっており、指定管理者の責任によるものではない。				
○低学年対象のソフトボール、軟式野球、サッカー、高齢者のグランドゴルフ等の他種目との共用利用（コート面割）を安全を確保しながら行い、利用者増加に取り組んだ。				
○若松響灘周辺の企業に利用広報・営業活動を行い、社員福利厚生活動の一環としてソフトボール・テニス・サッカー大会などの当施設への誘致に取り組んでいる。				
○「テニス体験教室」や「デトックスヨガ教室」を開催し、利用者を対象とした「健康チェック」行い、健康啓発活動に取り組んだ結果、利用の少ない期間の利用者増加に繋がった。				
○野球等は若松・桃園・大谷・的場池の4施設間で、テニスは桃園・若松で利用調整を				

行い、施設利用の効率化や利便性の向上に取り組んだ。
 ○消毒液・体温計・二酸化炭素濃度測定器の設置、動線の確保など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、利用者を安全に受け入れる体制を構築した。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【施設利用について】

満足度	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	85.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	99.1% (37.5%・61.6%)	98.8% (46.9%・51.9%)	98.3% (38.8%・59.5%)

【職員対応について】

満足度	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	90.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	99.8% (60.4%・39.4%)	99.5% (59.5%・40.0%)	98.2% (45.0%・53.2%)

※ ・・・評価対象年度

- 施設利用、職員対応共に利用者満足度の目標値を上回り、高い評価を得ている。
- 苦情や要望などに迅速に対応し、検討の結果すぐには実現できないことに関しても申し入れた利用者に丁寧に理由を説明し、納得してもらうよう取り組んでいる。
- 良好なグラウンドコンディションを維持するために、グラウンド整備技術の向上・標準化や職員による器具・備品等の改善に積極的に取り組んでおり、環境整備技術の向上が施設利用者の満足度向上に繋がっている。
- 他施設での苦情であっても全スタッフがその情報を共有し、より安全で利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。
- ホームページをこまめに更新し、より正確な利用スケジュールや教室案内を提供している。また工事などにより利用不可な期間や変更点などをリアルタイムに情報提供することで、利用しやすい施設づくりに取り組んでいる。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。

- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

【維持管理経費】

(単位：円)

区 分	【参考】R1 年度	R2 年度	R3 年度	前年度比較
委託料	1,657,550	1,621,293	2,355,803	734,510
修繕費	2,076,393	2,111,826	1,964,062	▲147,764
光熱水費	3,683,054	3,694,168	3,777,213	83,045
人件費	17,819,750	20,934,104	20,715,720	▲218,384
その他経費	918,953	778,810	439,725	▲339,085
合計	26,155,700	29,140,201	29,252,523	112,322

※ . . . 評価対象年度

- スピナの特徴である「多角経営」を活かし、日常的な清掃、防火設備の緊急修繕、その他多くの小修繕を自社社員が行うことで、安価で迅速な対応を可能とし、また、施設や用具の理解を深めることにもつながっている。
- 職員による定期的な施設内外巡回パトロールを通じて設備・備品類の不具合箇所の早期発見・補修に取り組み、無駄の無い効率的な施設運営に努めている。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【施設使用料収入】

(単位：円)

区 分	【参考】R1 年度	R2 年度	R3 年度	前年度比較
ひびきコスモス運動場	361,680	520,380	419,820	▲100,560
若松球場	373,885	405,385	423,808	18,423
若松庭球場	2,655,770	1,353,780	2,254,010	900,230
若松球技場	1,166,440	2,623,970	1,202,140	▲1,421,830
①実収入計	4,557,775	4,903,515	4,299,778	▲603,737

区 分	【参考】R1 年度	R2 年度	R3 年度	前年度比較
②減 免 額	6,492,575	4,226,805	4,294,400	67,595
③合計(①+②)	11,050,350	9,130,320	8,594,178	▲536,142

※ . . . 評価対象年度

- 平日の利用率アップを目指し、地元の自治区会(若松・赤崎・小石会)、近隣小中学校・高校(向洋中学・若松高校等)に利用広報・営業活動に取り組んでいる。また、若松響灘周辺企業(ブリジストン・東邦チタニウム、西部ガス等のナイター利用)の社員福利厚生の一環としてレクリエーション活動などの誘致にも取り組んでいる。

○球場の空き状況を桃園・大谷・的場池・ひびきコスモスの 4 球場で把握し、ある施設で空きが無い場合に他の施設を紹介し利用してもらう等、効率的な施設利用を行っている。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

【所見】

○地元の自治区会（協議会・老人会）との定期連絡会議の開催や、“地域防犯見回り隊”への施設職員の参加等、地域交流を図っている。

○外部講師を招き、球場グラウンド整備の実技指導や講習会を行うことで、グラウンドキーパーの技術向上を図っている。

また、桃園・大谷・的場池・ひびきコスモス 4 施設のグラウンドキーパーが連携しながら効率的な整備作業を行うとともに、質の向上にも努めている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

○スピナグループ企業の教育プログラムやマニュアルを活用し、桃園体育施設においてもそれらの教育を全スタッフに徹底し、適正かつ厳正な運営を行っている。

○施設の公共性・公平性を担保していく為に「条例に基づいた運営」を行い、施設利用団体や個人利用者に対してきめ細かな説明を行っている。

○スピナ本社管理スタッフで行う「職場安全パトロール」、本部スタッフによる定期的パトロールの実施、他施設での事故報告会や勉強会等の開催を通して、事故未然防止に向けた取組みを推進している。

○社内外で発生した労働災害・ヒヤリハット事例の紹介をし、各施設職員の安全意識向上に努め、事故未然防止に努めている。

【総合評価】

【所見】

- 平日の利用率アップを目指し、地元の自治区会（若松・赤崎・小石会）、近隣小中学校・高校（向洋中学・若松高校等）に利用広報・営業活動に取り組んでいる。また、若松響灘周辺企業（ブリヂストン・東邦チタニウム、西部ガス等のナイター利用）の社員福利厚生の一環としてレクリエーション活動などの誘致にも取り組んでいる
- 外部講師を招き、実技指導や講習会を行うことで、グラウンドキーパーの資質の向上に努めるとともに、複数施設のグラウンドキーパーの相互協力体制を強化することで、良好な施設管理を行った。
- スピナ本社管理スタッフで行う「職場安全パトロール」、本部スタッフによる定期的パトロールの実施、他施設での事故報告会や勉強会等の開催を通して、事故未然防止に向けた取組みを推進している。

【今後の対応】

- 今後も施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。